全体を通して

・インタフェースとインターフェースが混在。前者に統一してください。

・ユーザー⇒ユーザに統一

３ページ

「表1.1に代表的なユーザビリティ評価手法を示す．」⇒表１.１の参考文献番号を示す。

「ユーザビリティ評価手法は，形成的評価と総括的評価に大別」

⇒　ユーザビリティ関係の研究をしている西内研の人は、ほとんど同じことがかかれています。オリジナリティを出すこと、参考文献番号をきちんと書くこと。

９ページ

研究目的

「UX入力アプリケーション」⇒UX取得システムで統一してください。

「本研究では，**1.3.2節で述べたUX入力アプリケーションの有用性を示すため**，**UX入力アプリケーションのインタフェースに関する評価を行い**，インタフェースが一時的UXに及ぼす影響を検証する．」⇒

本研究では，**1.3.2節で述べた一時的UX取得システムの有用性を示すため**，一時的**UX取得システムの入出力インタフェースの評価を行い**，入出力インタフェースが一時的UXの取得に及ぼす影響を検証する．

第２章

「**2.1　ユーザビリティ**」⇒１８ページまでほとんど、他の人と同じです。誰かのものをコピーしたのでしょうか。オリジナルのものを作成してください。

2.4は塙君の論文から？同じではだめ。

第2章は特に、ほとんど参考文献を映していると思いますので、引用している部分は、参考文献番号をきちんと書いてください。

第3章

「本研究では一時的UXをリアルタイムで取得する「UX PLOT SYSTEM」というシステムを用いて研究を行う．」

⇒本研究では、我々の研究室で開発を行った、一時的UXをリアルタイムで取得可能な「UX PLOT SYSTEM」というシステムを用いて研究を行う．

以降、塙君のシステムと横山君のシステムの説明の区別が明確でない。3.2までは塙君のシステムのこと？

41ぺージ

「**・UX値入力画面**」⇒グラフの横軸の説明がない。

「**何のせいで（モノや現象などの要因）どのように感じたのか（感情や反応）の記入を行う．**」⇒の記入を行う⇒の入力を画面に表れるキーボードで行う

「UX入力後にユーザへのフィードバックとなるグラフが表示される場合とされない場合のインタフェースを開発した．」⇒グラフ⇒説明が十分でない。

・・へのフィードバックになるように、過去にユーザが入力したUX値の時間的変化を示すグラフ

42ページ

図番号の付け方がおかしい。以降、同様の形のものも修正すること。

(a). UX値入力画面（グラフあり）　(b) UX値入力画面（グラフなし）

図3.2　一時的UX取得システムの出力インタフェース

図3.3　UX値入力後の入力確認ポップアップ

第4章

45ページ

「本章ではUXPLOT SYSTEMのインタフェース比較実験を行い，UXカーブと傾向を比較しながら」

⇒本章では一時的UX取得システム（UXPLOT SYSTEM）の入出力インタフェース比較実験を行い，従来手法であるUXカーブとUX値の傾向を比較しながら

「今回は，対象のインタラクションが複雑化するとUXも複雑になり，比較・検証が困難になると考えられるため，インタラクションが少ない短編映像を用いて実験を行った．」

⇒

今回の実験では，UXの一部であると考えられている感情の変化に着目し、評価対象として短編映像を用いて実験を行った．

「**UX取得アプリケーション**」⇒用語

46ページ

「被験者は健全な大学生および大学院生の男女6名」⇒・・・大学院生（●歳から●歳）の・・・

「短編映像は世界最大級のショートフィルム映画祭の最終選考作品のひとつで，感情の変化が期待できる映像を採用した．」⇒映画の名称、情報を記載してください。

表4.1の形ではなく、実験風景の写真を掲載してください。

短編映像の再生機器として、モニタサイズを示してください。

「**UXの入力数の比較**，相関関係の比較，主観評価の観点で結果の考察を行う．」

⇒各インタフェースでのUXPLOTとUXカーブでの**UXの入力数の比較**，UXの変化の相関係数の比較，各インタフェースに対する主観評価の観点で結果の考察を行う．

47ページ

「4.3.2.1 UXの入力数の比較」

⇒階層が深すぎるので、「（1）UXの入力数の比較」としてください。以降、これに習って修正。本文中の引用も修正すること。

48ページ

「∆(差分値)はUXPLOTとUXカーブのUXの入力数の差分」

⇒・・・入力数の差分（ [UXPLOTのUX入力数] ― [UXカーブのUX入力数]）

49ページ目

「**データ数を補完している**．」⇒線形補完？であればそう書いてください。

「アプリケーションとUXカーブ結果」⇒用語統一

「強く傾向が見られる被験者の結果を」⇒顕著な傾向が見られる

53ページ

「被験者は健全な大学生および大学院生の男女6名(テキスト入力3名，音声入力し3名)である．」⇒年齢の範囲

第5章

57ページ

「UXカーブで簡略化・バイアスがかかったUXを詳細に取得する傾向があると考えた．」

⇒UXカーブではUXに簡略化やバイアスがかかる傾向にある一方で、提案システムではより詳細にUXが取得できていると考えた．

「UX取得システム（UXPLOT）アプリケーション」⇒用語の統一

「WebサイトはSUNTRY[34] のサイトを利用してもらい，サイト内で扱えるポイントを貯めて景品に応募するというタスクを行ってもらった．」⇒被験者には、実験タスクにおいてSUNTRY[34] のWebサイトを利用してもらい，サイト内で扱えるポイントを貯めて景品に応募するというタスクを行ってもらった．

「被験者は健全な大学生および大学院生10名である．」⇒年齢の幅

60ページ

表5.1の入力デバイスとは？　実験機器・ソフトの列は削除して、表のタイトルに含める。

61ページ

「UXPLOTによって取得したUXとUXカーブによって取得したUXの結果を図5.4, 図5.5に示す．」⇒

UXPLOTによって取得したUX値とUXカーブの結果の中から、顕著な結果が得られた2名の被験者の結果を図5.4, 図5.5に示す．

⇒この記載の形は何度も出てきていると思います。統一してください。

62ページ

「UXカーブとの傾向を比較するため，被験者を一致率ごとに分類した．」

⇒各一致率の被験者の人数は？

63ページ

「Positiveな体験ほど忘却が発生しにくく，Negativeな体験ほど忘却されやすいことが考えられる．」⇒

Positiveな体験ほど忘却が発生しにくく，Negativeな体験ほど忘却されやすいことが考えられる．この結果は，先行研究[塙君の論文]の結果とも一致する．

65ページ

「結果が示すように，UXPLOTで入力された複数のNegativeな一時的UXがUXカーブでは，一つのNegativeなエピソード的UXとして入力されている．」

⇒・・・入力されている．実際の設計プロセスにおいて、細かい複数のNegativeな一時的UXが製品やサービスの改善に利用されるべきであるが、これらがUXカーブでは簡略化されているという問題点が明らかとなった。

「一連のエピソードに対して複数の一時的UXが多くされる傾向が強いためにエピソード一致率が減少し，」⇒多くされる？

68ページ

表5.5のカテゴリーとエピソードの下の線を太くしてください。表の項目なのか、内容なのかわかりにくいです。表5.6の項目は？

70ページ

「・・・い満足感が得られていると考えられる．」

⇒この文章の後に以下を追加。

　以上の結果より、主観評価ではあるものの、Positive、Negativeな具体的な内容を数値で比較することができており、実際のUXデザインプロセスにおいて、設計者が製品やサービスの改善点や強化点を具体的、かつ、複数の項目を相対的に俯瞰することができ、設計ポイントの優先度の決定に用いることができると考えられる。

⇒5.4.6のまとめにも上記の言い回しを少し変えて、書いてください。

「第6章　結論」の章がありません。過去の人の結論を参考にして作成してください。

謝辞

副査の先生（審査委員）の名前も書いておいてください。

以上